

農作物生育・技術情報9号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稲 中苗：ななつぼし

●生育状況調査

区分	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	遅速 日数	備考 ※ ()は平年比
R3年	79.8	16.9	508	早3	成熟期 9月13日 (9月16日)
平年値	75.4	17.3	515		
差	+4.4	-0.4	-7		

(1) 収穫作業について

- ア 降雨や風により徐々に倒伏・なびきが増えてきました。品質を落とさないように作業は計画的にすすめる。
- イ ほ場に水が停滞している場合は、水田を痛めないように急旋回は避ける。
- ウ 倒伏した稲は追い刈りでコンバインの速度を落とし丁寧に刈る。

(2) 乾燥・調製について

- ア 急激な乾燥は避け、二段乾燥や熱風温度を下げてゆっくり乾燥させる。

(3) 収穫後の透排水性改善、稲わら処理について

- ア 走行軌跡に水がたまる場合は、溝きりなど排水対策を行い、水田の乾燥に努める。
- イ 秋起こしは水田の乾燥状態を確認してから行う。
- ウ またワキが発生したほ場は稲わらを排出し次年度に備える。

2 主要野菜

作物名	生育状況	技術対策
トマト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5～8段で収穫中。 ・ 高温による着果不良がある。 ・ 一部ほ場で空洞果や裂果が見られる。 ・ 灰色かび病、すすかび病、うどんこ病、アザミウマ類の発生が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハウス内の温度が12℃以下にならないようにする。また、結露をできるだけ防ぐようにする。早めのハウスの開閉で、温度管理に注意する。 ・ 摘葉等で通気性をよくし、病害の発生を防止する。
ハウス軟白ねぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5～6月定植作型を収穫中。 ・ 葉先枯れ症状、アザミウマ、ハモグリバエ類が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫終了後はもみ殻を搬出する。

作物名	生育状況	技術対策
アスパラガス (ハウス立茎)	・斑点病の発生が見られる。	・斑点病防除は9月中旬までを目安に行う。 ・収穫終了後もかん水を行い、自然に枯れ上げるようハウスを開放し外気にあて養分転流を促す。
きゅうり	・生育は良好。親づるの収穫が終わり、子づる・孫づるに着果している。 ・うどんこ病・べと病の発生が見られる。	・うどんこ病、べと病の防除には、予防効果の高い薬剤と治療効果を伴う薬剤を使い分け、防除効果を高める。

3 畑 作

収穫時期を迎えました。ほ場をよく観察し適期作業を心がけましょう。

○小豆

コンバイン収穫の適期は熟莢が100%に達し、子実水分が16～18%になった頃です。完熟期後、約1～2週間以内が目安となります。

子実水分を優先して適期収穫をしましょう。

○大豆

汚粒の発生防止のため、わい化病株・雑草の抜き取りをして収穫に備えましょう。

○秋まき小麦

イネ科雑草と越冬雑草の対策は秋処理が基本です。「除草剤使用ガイド」を参考にしてください。秋処理をしましょう。

4 畜 産 (9月15日現在)

○牧草 (2番草) 収穫65% (作業 7日遅)

最終刈り取りは、刈り取り危険期 (下行) の前に収穫しましょう。

アルファルファ 9下～10中、オーチャードグラス・ペレニアルライグラス 10中～10下

○サイレージ用とうもろこし 収穫10% 「乳熟期」100%、「糊熟期」80%・・2日早

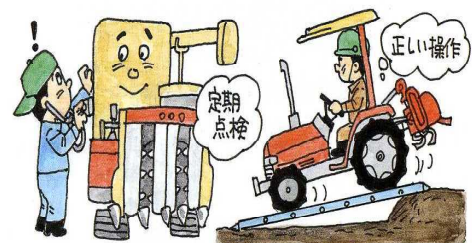
子実の状態を確認し、黄熟期まで登熟を進めましょう。

収量調査結果、平取町・日高町 (34筆調査) 5,800kg/10a (平年 6,100kg/10a)

5 秋の農作業安全運動期間です!

秋の繁忙期は収穫等の農作業が増えると共に、日没が早まり、作業中の事故が発生しやすくなります。

- 休憩の取れる無理のない作業
- 農作業や機械作業に適した服装
- 点検・整備は、必ずエンジンを停止させる
- 油断せず後方確認、足下注意
- 農道の走行時は、路肩の状況を確認



事故のない収穫の秋を迎えましょう!